

編集後記

本年度は学園創立五十周年を迎え、キャンパスも整備されて、後半世紀に向け、新たな一歩を踏み出した年でした。

まるでこの年を待ち構えたかのように、世界は大いに揺れ動きました。

宗教講座の内容は、激動する時代社会に、すぐに役立つといったものではないかもしれませんが。

しかし先端の知識や技術は、それを駆使する人間が歳をとったり、違う環境に身を移したりすれば、その用は果たせなくなってしまう。宗教が目指すところは、知識や技術のプロを育てることではなく、いわば「生き方のプロ」を養成することにあると思うのです。いつでも、どこでも、だれにでも通じる、普遍的なライフスタイルを提供するのが、宗教の使命だといえましょう。

その意味で、この「真実心」の持つ役割は、大きいと思います。

昨年後半に新講堂が完成した関係で、宗教講座の開催回数が減ったことはいささか残念な気もしますが、来年度からは長年懸案であった真宗文化研究所も開設の運びとなり、新研究所からの協力も仰いで、いろんな側面からバラエティーに富んだ宗教講座が企画されることでしょう。

最後になりましたが、本誌の文責はひとえに編集委員にあることをお断りしておきます。

(編集委員記)

一九九一年三月二十八日発行

眞 実 心 第十二集 非売品

発行所 光華女子大学
光華女子短期大学

〒615 京都市右京区西京極葛野町三八番地
電話 〇七五―三二二―一七八三(代)

印刷 榑吉川印刷工業所

〒601 京都市南区吉祥院道登中町四五―一
電話 〇七五―六九一―八一八六(代)